

電車・バスでのお出かけに便利なサービスはこちら！

my route 富山

<https://toyama-city.myroute.fun/>

WEB
サイト



アプリ
ダウンロード



「my route」アプリは目的地までのルート検索はもちろん、電車・バスのデジタル乗車券の購入もできます。富山県全域をカバーしているため、通勤・通学、お出かけにも活用できる便利なアプリです。また、目的地周辺の飲食店や観光スポットなどの情報もスマホひとつで簡単に検索・予約できます。



普段使いも観光もOK!
富山で使えるお得な
デジタルチケットはこちら!



<https://toyama-city.myroute.fun/ticket/>

とやまロケーションシステム

(パソコン/スマホ)

<https://toyama.vtfm.jp/>
(ガラケー)

<https://buscatch.jp/toyama/>

パソコン
スマホ



ガラケー



富山県内の電車・バスの位置情報や運行状況などをリアルタイムで確認できる便利なシステムです。スマートフォンやパソコンから簡単に利用できます。特に雨や雪の悪天候の時等にとっても便利です！



特設ウェブサイトもチェック!!



電車やバスなどに乗った時のメリットを年代ごとにマンガで楽しく分かりやすくご紹介しています！

<https://toyama-densha-bus.jp/>

富山県 電車バスで行こう

検索

詳しくは
こちらから！



【企画】
富山県交通政策局地域交通・新幹線政策室 交通戦略企画課
〒930-8501 富山県富山市新総曲輪1-7 TEL:076-444-3124

【制作】
(株)北日本新聞開発センター
〒930-0094 富山県富山市安住町2番14号 TEL.076-445-3588

いっぱい
乗ってね～



公共交通のメリットをマンガで紹介!

知ってビックリ! 乗ってナットク!!

電車・バスで 行こう!

1年間で
体脂肪6kgも
ダウン!?

勉強や読書、
睡眠の時間が
爆増!?



カーボン
ニュートラルや
SDGsにも貢献!?

1年間でナント
約40万円も
節約!?

今こそ
知りたい

富山をよりよい未来へつなぐ 「富山県地域交通戦略」



電車やバスなどの地域交通は、車を運転しない人たちだけでなく、地域の観光、教育、福祉、商業などにとって欠かせないサービスで、CO₂の削減や道路の渋滞緩和、交通事故の削減など、様々なメリットがあります。富山県では、持続可能な地域交通サービスを確保するために「富山県地域交通戦略」を策定。富山県の活力・魅力の向上、そしてウェルビーイングの向上をもたらす持続可能で最適な地域交通サービスの実現に向けてチャレンジしていきます。

ウェルビーイングが向上する地域交通へ

富山県が全国に先駆けて取り組んでいるウェルビーイング。「地域交通戦略」においても、県民がいきいきと自分らしく暮らし、幸せを実感できるような次のような地域交通サービスを目指します。

- 誰もが利用でき、使いやすく便利で快適に移動できる。
- これまで以上に社会と関わりをもち、生き生きと暮らせるようになる。
- 日々の生活の中で获得感、満足感、新しい発見を得られる。



「富山県地域交通戦略」の3つの目標

- 目標1 県民一人当たりの地域交通利用回数 **50** 回/年
- 目標2 ガソリン車の台数 **20** 万台減
- 目標3 地域交通への満足度 **1.25** 倍



知っておくとベッリ!! 電車・バス利便性向上のための取組み

でんしゃ・バスまち店舗

日差しの強い日や雨・雪が降る日でも、お近くの店舗の中で、快適に電車やバスを待つことができるようにする取組みです。令和7年3月現在、県内のファミリーマート24店舗にて実施しています。



店舗入口のステッカー、座席周辺のミニのぼりが目印!

「とやまロケーションシステム」の使い方

電車やバスの出発地と到着地を入力・指定して検索すると、運行情報や位置情報、遅延情報などをお知らせします。最寄りの停留所を探す機能もあります。駅やバス停に行く前に、調べておくと便利ですね!



教えて!
本田先生



みんなで電車・バスを利用して、持続可能な富山を作ろう。

富山県が進める「富山県地域交通戦略」の意義やメリットなどについて、富山大学・都市デザイン学部で総合交通政策や都市インフラ整備について研究されている本田豊教授に解説いただきました。

富山県ほど、公共交通が整備された地方都市は少ない

私たち利用者からすれば基本的に道路も鉄道も同じ社会インフラですから、富山県において電車やバスを「公共サービス」と位置付けた『富山県地域交通戦略』が策定されたことはとても大きな意義があります。そして、この戦略の大きな方針として県が目指す「ウェルビーイングの向上」が掲げられていますが、この生活の豊かさのためには、**公共交通を含めた移動の選択肢が多いことが重要です**。富山県には、氷見線、城端線、高山線のJR線の他に富山地方鉄道やライトレール、万葉線、あいの風鉄道などがあり、これらの鉄道などを利用することで富山県内をほぼ移動でき、さらに**鉄軌道がこれほど整備されている地方都市は他にはありません**。

この鉄道と、徒歩や自転車、バスなどを組み合わせて利用することで、富山県を持続可能な都市にすることができます。ウェルビーイングだけでなく、この持続可能という観点からも、公共交通の果たす役割はとても大きいのです。

公共交通の利用で、街に賑わいが生まれる

公共交通を利用するメリットとして、移動中の勉強や読書、ゲームの他にも、いろいろなお店に立ち寄って買い物ができることや、社会人ならお酒が飲める等の利点があります。つまり**公共交通の場合、点と線、点と面の行動となります**。しかし、車の場合には自宅と目的地という点と点だけの移動になり、もちろん運転する人はお酒が飲めませんし、また駐車料金も発生することから滞在時間も短くなりがちです。ですから、**公共交通を利用した場合には地域への経済効果をかなり期待できます**。街の活性化につながるということは、公共交通の大きなポイントです。

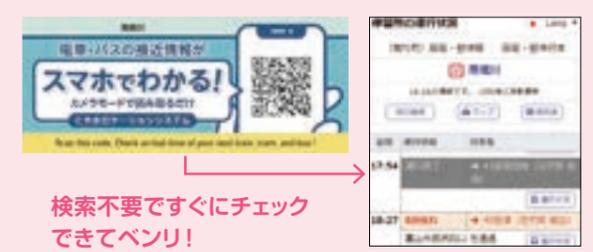


富山大学 都市デザイン学部
都市・交通デザイン学科
本田豊教授

1962年富山県生まれ。神戸大学工学部卒業後、建設コンサルタント、兵庫県職員を経て、2018年4月から富山大学都市デザイン学部教授。NPO法人持続可能なまちと交通をめざす再生塾理事。著書に、「都市交通の切り札LRTを検証する」、「LRTによる新しいまちづくりを実現するために」【日本におけるLRT整備の課題-LRTによる都市再生を進めるために-】ほか。

バス停・電停専用二次元コードステッカー

県内の各電停・バス停に掲示されている専用二次元コードを読み込むと、「とやまロケーションシステム」で当該電停・バス停のリアルタイムの到着予定時刻等を簡単に確認できます。電停やバス停の検索が不要です。



今から聞けない!? 電車・バスの乗り方



- ①きっぷを購入 or ICカードを用意する
- ②きっぷを駅員に見せて or ICカードをタッチして改札を通る
- ③行き先を確認して電車に乗る
- ④電車を降りたら改札口できっぷを回収 or ICカードをタッチ



- ①バスの行き先を確認し、入ロドアから乗車
- ②整理券をとる or ICカードをタッチ
- ③降りるバス停がアナウンスされたら「とまります」ボタンを押す
- ④車内前方の掲示板上で運賃を確認
- ⑤バスが停まったら運賃箱に運賃と整理券を入れて or ICカードをタッチして出口ドアから降車。お釣りが出ないので、車内で両替もできます。

ICカードが使えない路線や、対応していない車両もあります。





もう子どもじゃないからね!

「オトナへの階段」

第1話



※あいの風とやま鉄道の富山駅～高岡駅間を約20キロ、自動車移動で約1時間とし、渋滞や待ち時間を約10キロ、毎月の給油を2回、ガソリン1Lの価格を185円、約45Lで満タンとして計算。また同区間の通学定期券は1か月8,190円で販売中。(2025年3月現在)



車はラクだけど運動不足がみ...

「モデルになれちゃうかも!？」

第2話



※改訂第2版「身体活動のメッツ(METS)表」成人版による消費カロリー計算式に基づき、体重50kgの人が30分ウォーキング(通勤通学の歩行:4.0メッツ)をしたとして算出。

電車・バスって実は...家族にも家計にも優しい!

家族の送迎は快適で便利な反面、渋滞や待ち時間など困り事も多く、**家族の負担になっているかもしれません**。送迎の時間がなくなれば、仕事や家事・趣味の時間を確保できます。

また、富山県では一世帯当たりの自動車関係の支出として、**年間約40万円がかっている***との調査もあります。

公共交通は、利用時に運賃を支払うだけでOK!

車を保有するより経済的です。

※出典:家計調査(令和6年度)

マイカー送迎時の家族の負担はどのくらい?

車送迎の所要時間	1ヶ月当たり(平日20日)	1年当たり
15分	5時間	60時間
30分	10時間	120時間
1時間	20時間	240時間

電車・バスって実は...安全で運動もできちゃう!

1時間クルマで移動する代わりに公共交通機関で移動すると、**118キロカロリーも多く消費できます**。

これを約1年間続けると、**約6kgの体脂肪を落とす効果に相当!**

ランニングやジムに行かなくても、日頃の移動手段を少し変えるだけで、運動不足の解消につながります。また、プロの運転手が運転する公共交通は、マイカーに比べ事故の確率が低い交通手段でもあります。

15km離れた目的地に行く時の消費カロリー



出典:第6次改訂日本人の栄養所要量



行き帰りの渋滞
イヤなんだよなあ

「渋滞知らずでスイスイ♪」

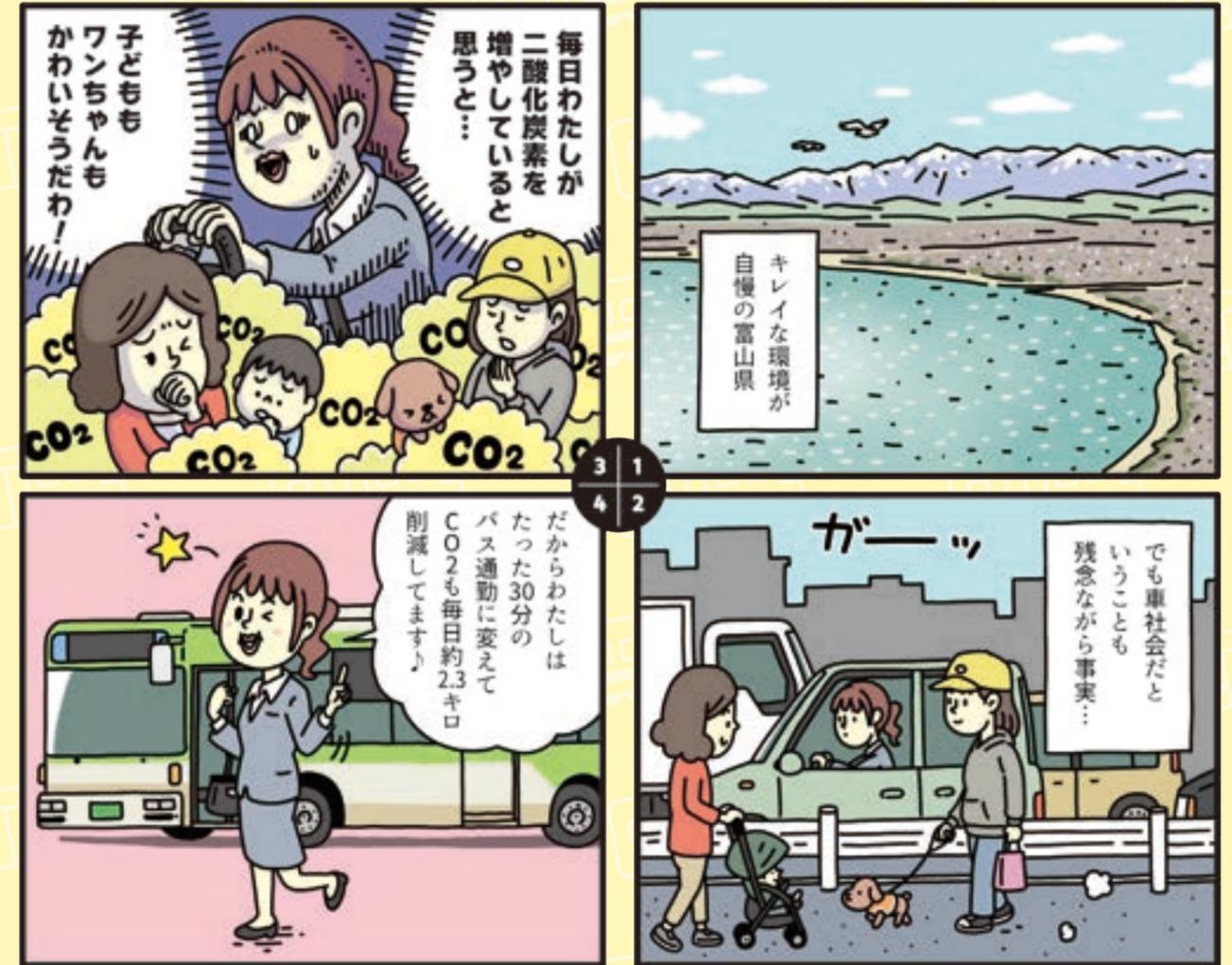
第3話



わたしが富山の
未来を守る!

「子どもも犬もケホケホ」

第4話



※一般社団法人環境エネルギー事業協会による「ガソリン車の利用に伴うCO₂排出量(tCO₂)」の計算式に基づいて、走行距離15km、車の燃費15km/ℓとして算出。

電車・バスって実は…交通渋滞を減らせる!

公共交通はスムーズに移動でき、**時間に余裕を持って行動できます**。駐車場を探したり駐車代を支払ったりする必要ありません。

さらに、マイカーから公共交通へ転換する人が増えることで、その分交通量が減少し**交通渋滞の緩和が期待**されます。

多くの人にメリットがある公共交通を未来に残していくため、積極的に利用していきましょう。

60人を運ぶには?

マイカー
(1台1.5人乗車換算)



バス
(1台30人乗車換算)



電車



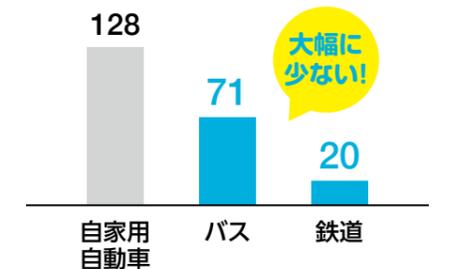
電車・バスって実は…環境にやさしい!

多くの人を同時に運ぶことができる公共交通は経済的なだけでなく、二酸化炭素の排出量を削減することができます。

1人を1km運ぶのに排出されるCO₂排出量は、クルマと比べて、**バスはおよそ半分、鉄道は6分の1!**

SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けて、「一体何をすればいいの?」という方、まずは1日、電車・バスに乗ってみませんか?

輸送量あたりの二酸化炭素の排出量
(旅客)
(単位:g-CO₂/人km)



出典:国土交通省ホームページ(2024)